

第3回 超党派 成育医療等基本法成立に向けた議員連盟

議員総会 次第

2018年7月17日(火) 8:00 a.m.～

参議院議員会館 1F 101 会議

一、 開 会

一、 挨拶

会 長 衆議院議員 河村 建夫 先生

団体代表 日本医師会副会長 今村 聡 先生

一、 ヒアリング

妊娠期からのサポートの重要性について

～妊娠期からの切れ目のない支援～

「にんしん」をきっかけに、誰もが幸せを感じながら生きていける社会へ

～妊娠 SOS 東京の相談窓口から～

一般社団法人にんしん SOS 東京 代表理事 中島かおり

一、 意見交換

以上

関係団体・省庁出席者

日本医師会

今村 聡 副会長

小玉 弘之 常任理事

釜菴 敏 常任理事

平川 俊夫 常任理事

日本小児科医会

伊藤 隆一 副会長

日本小児科医師連盟

松平 隆光 委員長

日本産婦人科医会

木下 勝之 会長

日本助産師会

島田 真理恵 副会長

厚生労働省 子ども家庭局

山本 麻里 審議官

平子 哲夫 母子保健課長

内閣府 子ども・子育て本部

伊藤 信 参事官 (総括担当)

2018.7.17
第3回 超党派 成育医療等基本法成立に向けた
議員連盟議員総会

妊娠期からのサポートの重要性について
～妊娠期からの切れ目のない支援～
「にんしん」をきっかけに、
誰もが幸せを感じながら生きていける社会へ
～妊娠SOS東京の相談窓口から～

一般社団法人 にんしんSOS東京
代表理事 中島かおり



“にんしん”の社会課題



出生数は94万人

中絶件数は17万件

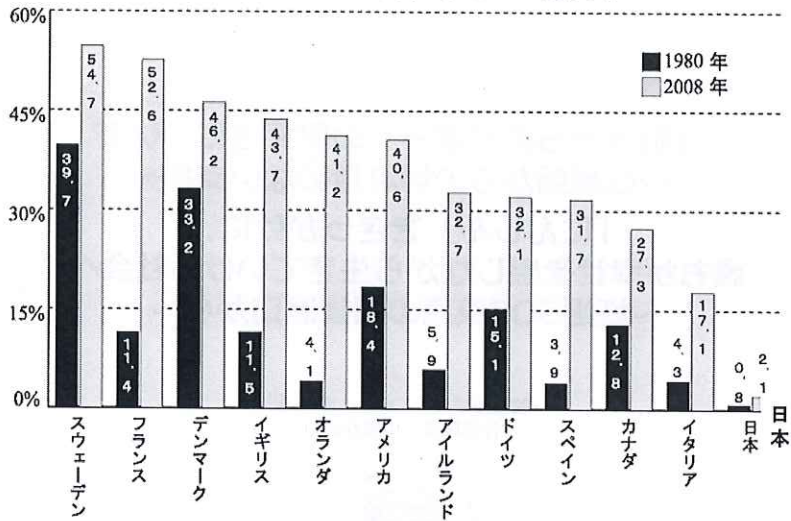
年間死亡者数は130万人

全妊娠の15%が中絶している
理由の第一位は結婚していないから
40代の相談は育児負担感や
経済的な理由そしてDVが背景にある
中絶を繰り返す人が35%

結婚しないと子どもが産めない？



世界各国の婚外子の割合

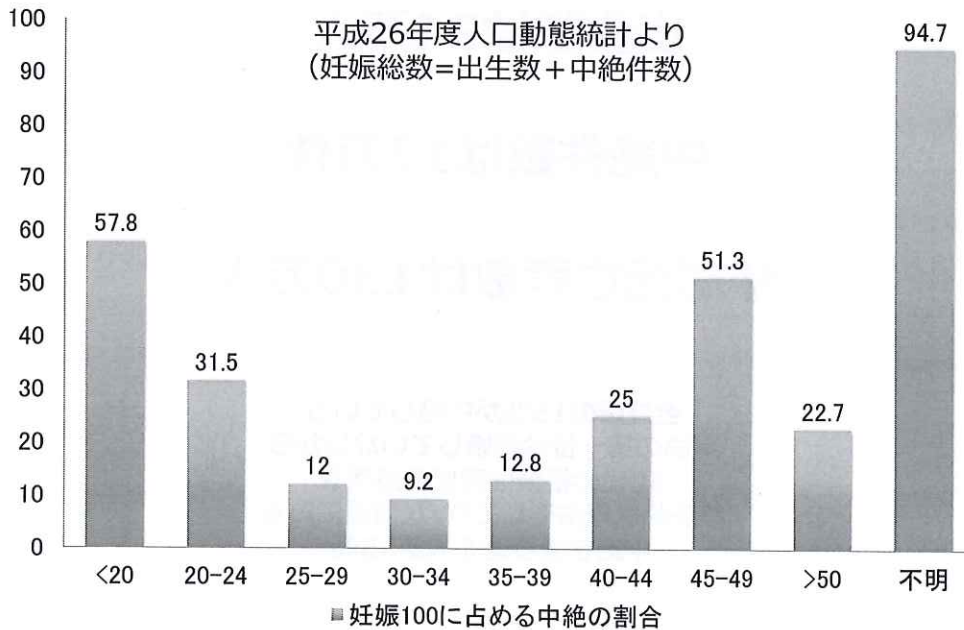


(注) 未婚の母など結婚していない母親からの出生数が全出生数に占める割合。
 ドイツの1980年は1991年のデータ。
 2008年についてはイギリス・アイルランドは2006年、カナダ・イタリアは2007年のデータ。
 (資料) 米国商務省、Statistical Abstract of the United States 2011 日本：厚生労働省「人口動態統計」

Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

3

40代後半にもピークがある



平成26年度人口動態統計より
 (妊娠総数=出生数+中絶件数)

■ 妊娠100に占める中絶の割合

Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

4

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 『性と生殖に関する健康・権利』



(1994年にカイロで開かれた国際人口開発会議 (ICPD)にて提唱された概念)

(前略) リプロダクティブ・ヘルスは、人々が安全で満ち足りた性生活を営むことができ、生殖能力を持ち、子どもを持つか持たないか、いつ持つか、何人持つかを決める自由をもつことを意味する。1994年、カイロ国際人口・開発会議で採択された文章に基づいている。

生殖年齢にある男女のみならず、思春期以後、生涯にわたる性と生殖に関する健康を意味し、子どもを持たないライフスタイルを選択する人々を含めた、すべての個人に保障されるべき健康概念である。

具体的には、思春期保健、生殖年齢にあるカップルを対象とする家族計画と母子保健、人工妊娠中絶、妊産婦の健康、HIV/エイズを含む性感染症、不妊、ジェンダーに基づく暴力等を含む。

リプロダクティブ・ライツとは、性に関する健康を享受する権利である。具体的には、すべてのカップルと個人が、自分たちの子どもの数、出産間隔、出産する時期を自由にかつ責任をもって決定でき、そのための情報と手段を得ることができるという権利。また、差別、強制、暴力を受けることなく、生殖に関する決定を行える権利も含まれる。

さらに、女性が安全に妊娠・出産を享受でき、またカップルが健康な子どもを持てる最善の機会を得られるよう適切なヘルスケア・サービスを利用できる権利が含まれる。

-----日本国際保健医療学会/国際保健用語集より

「世界一赤ちゃんが亡くならない国」

新生児死亡率 (千人当たり0.9人)
(2018.2.20国連児童基金 (ユニセフ) 発表)



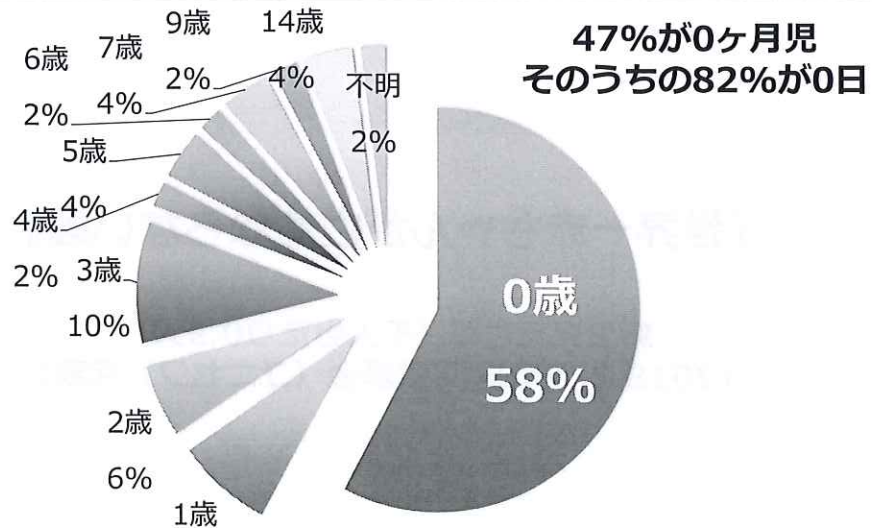


「児童虐待死で一番多いのは 生まれたその日に亡くなる命」 (52人中11人) (子ども虐待による死亡事例等の 検証結果等について(第13次報告))

Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

7

児童虐待死の58%が0歳児

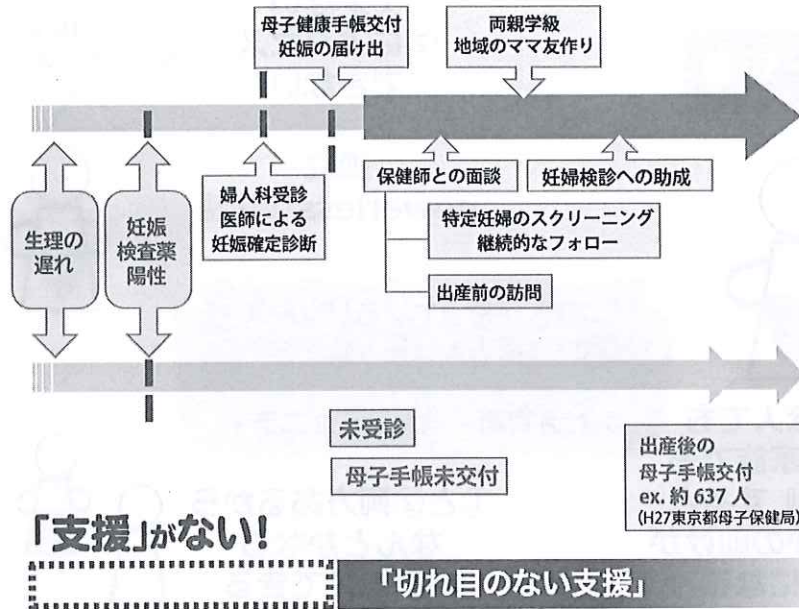


子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第13次報告)の概要
社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会
【平成29年8月】より

Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

8

スタートラインはもっと早いほうがいい



内閣府の「切れ目ない支援」の
メインのスタートラインは
「母子手帳交付」の場
しかし超ハイリスクな特定妊婦は
その場に現れないため
繋がるのが難しい。

虐待予防を胎児期から

「妊娠したかも・・・」
という時から繋がる仕組みが必要

課題の背景



情報・知識

- ①少ない
- ②にアクセスできない



孤立
powerlessな状態

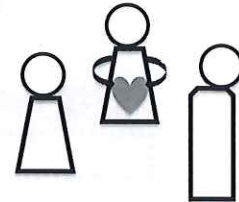
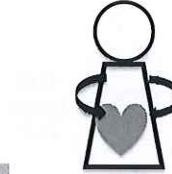


どんな人でも
どんな家族でも
『妊娠』すると
必ず誰かの助けが
必要になる

①個人が持っているリソース
(家族・友人・仕事・住居など)

②社会資源・地域コミュニティ

①と②両方あるから
なんとかなる
自己決定できる



にんしんSOS東京の理念



生まれてくる命に良い悪いなんてない。
私たちはそう信じています。

命が宿ったからには何か意味がある。
生まれることにも、生まれないことにも。
私たちはそう考えます。

「産めない」と感じる女性の気持ち、
「産まなければいけない」とい思い悩む女性の気持ち。

どちらもそれは、社会の問題。
だからこそ、私たちは支えになれればと思います。

その人が、心からその人の選択をする。
そうしたい。そうするのがいいと、
自分の選択に納得して、主体的に人生を歩む。

私たちは、すべての命に付き添います。
生まれる、生まれない。すべてに、付き添います。



にんしんSOS東京のミッション



Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

13

相談支援事業内容

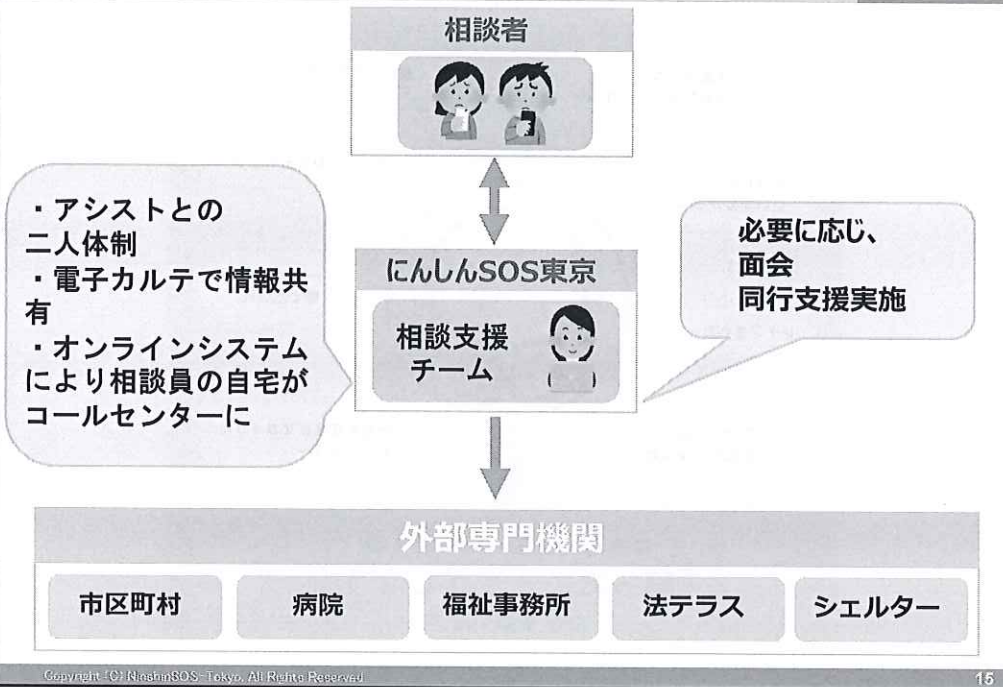


- 365日16時～24時まで：電話相談窓口運営
緊急時は24時間対応
- 365日24時間：メール・LINE・twitter相談受付
- 面会相談・関係機関への付き添い支援
- 医師、看護師、助産師、社会福祉士など
医療と福祉の専門職が対応

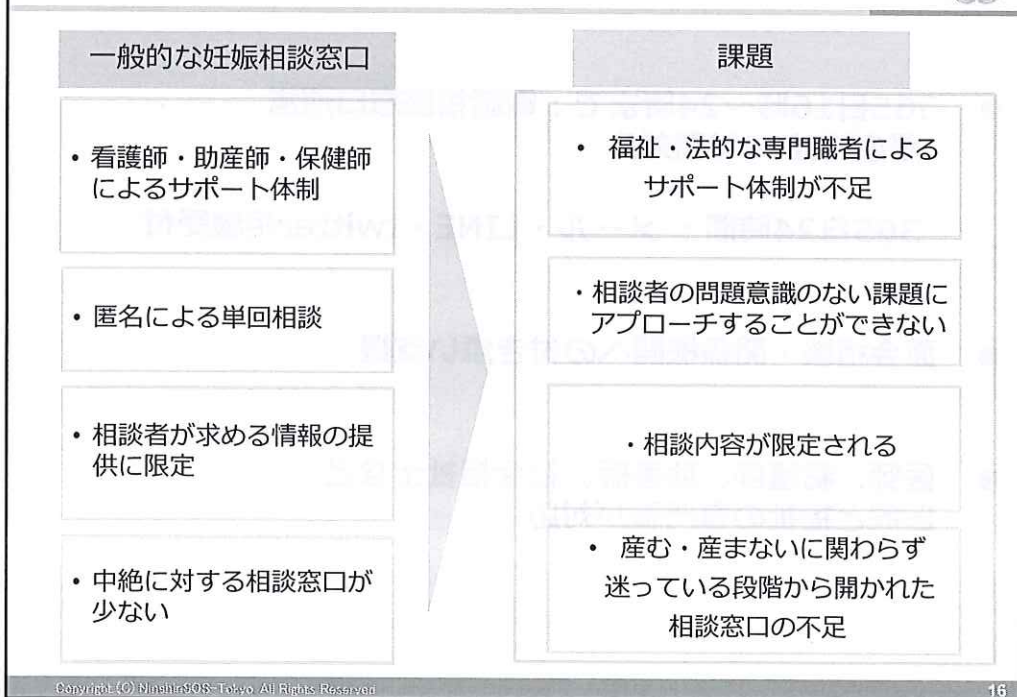
Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

14

窓口業務のスキーム図



妊娠葛藤相談窓口の課題



私たちの取り組み



にんしんSOS東京

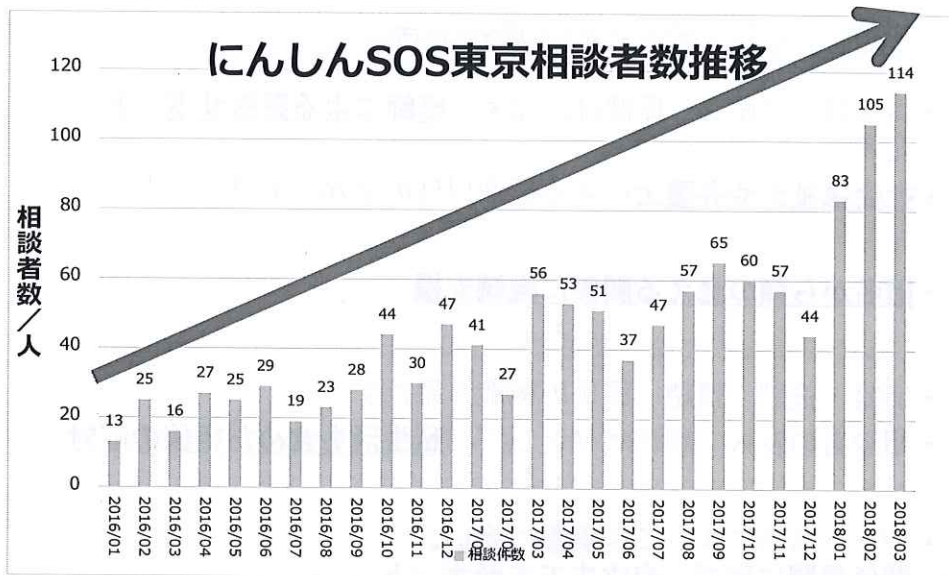
- 看護師・助産師・保健師に加え、**医師による医療サポート**の充実
- **社会福祉士や弁護士**による医療以外の面からもサポート
- **匿名から顔の見える関係に継続支援**
- 情報・役割・情緒・評価の機能も果たす
- 相談者の友人・親代わりとして、**私生活も含めた相談の対応**
- 抱える事情によっては**実際に会い、関係機関に繋ぎ、自立までをサポート**

私たちの役割



- 1) すでに背負っているたくさんの課題（荷物）を手放してもらう。
身軽になると、本当の気持ちを出出できるようになる。
 - **傾聴し、課題の整理整頓**
- 2) 確かな情報を提供をする。
 - **医療と福祉、司法の専門家である**
- 3) その人にとっての答えや出口を一緒に探す。
相談者さんにとってその時最善の選択ができるよう支える。
 - **キーパーソンは誰か？**
関係機関・連携先と顔が見える関係に

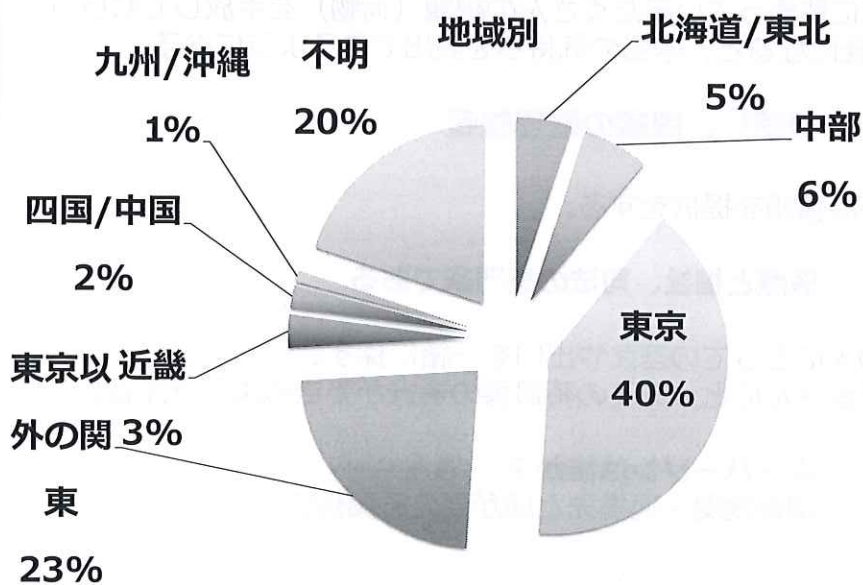
相談者数 1223人 (2016.1~2018.3)



Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved.

19

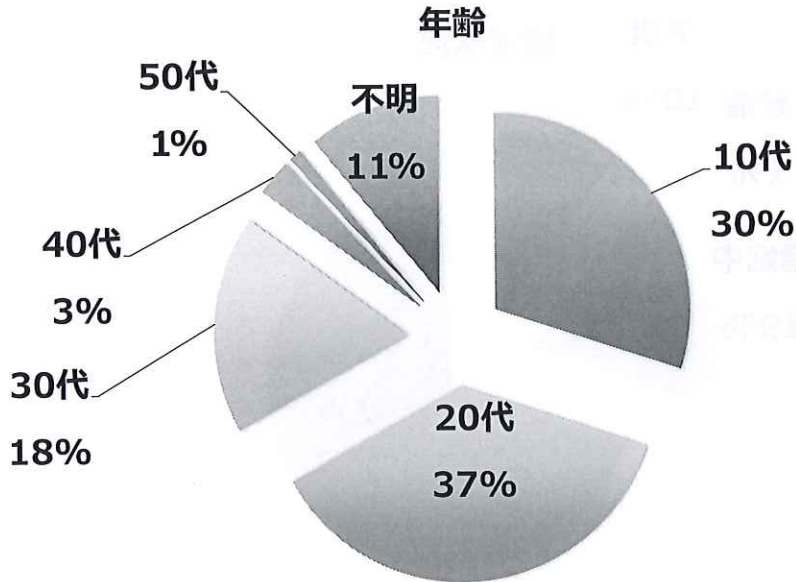
全国から相談が寄せられる



Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved.

20

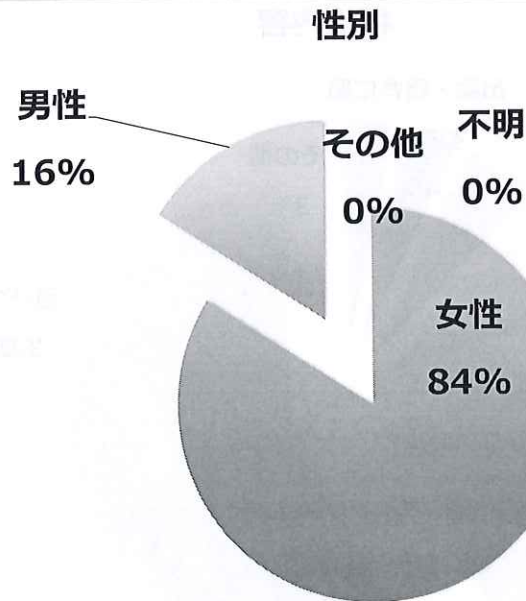
10代の相談者が全体の30%を占めている



Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

21

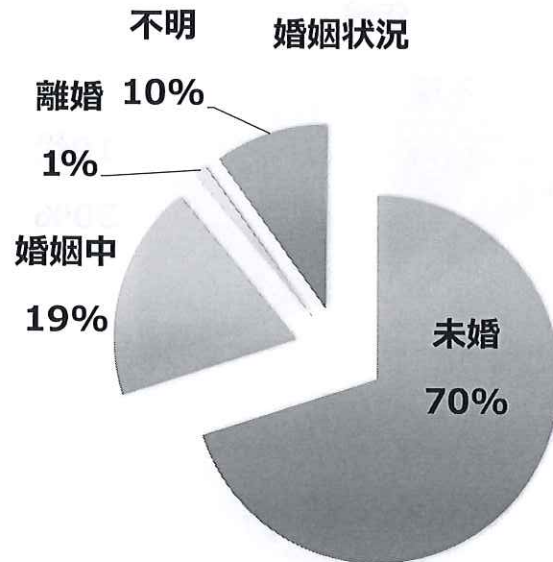
男性からの相談が16%



Copyright (C) NishinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

22

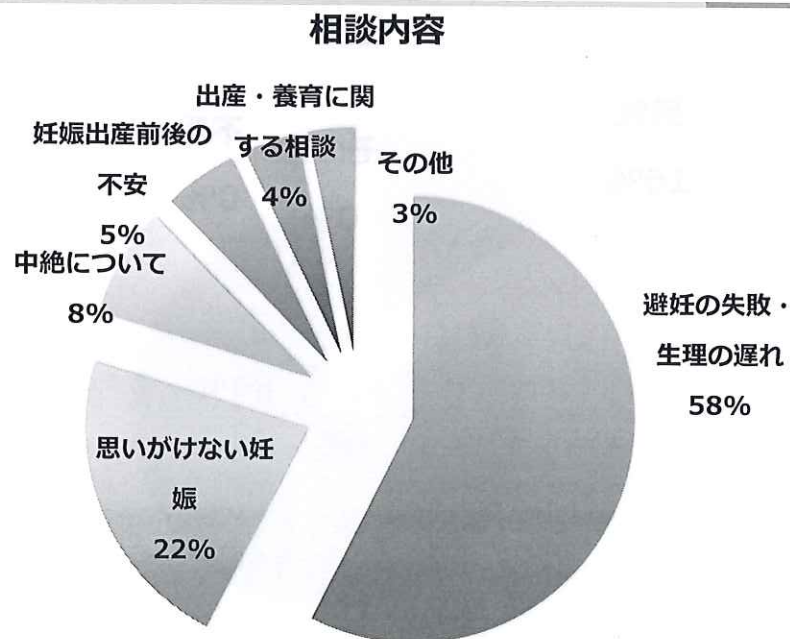
未婚の方が70%、既婚者も19%をしめる



Copyright (C) Nishinichi SOS-Tokyo All Rights Reserved

23

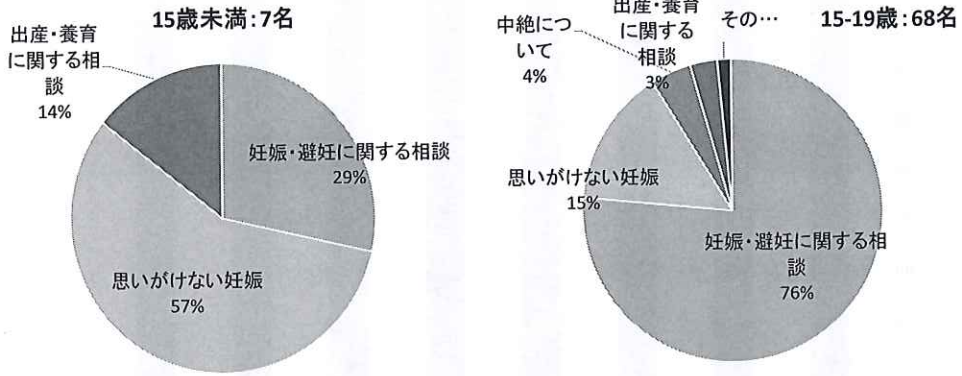
避妊の失敗・生理の遅れの相談が最も多い



Copyright (C) Nishinichi SOS-Tokyo All Rights Reserved

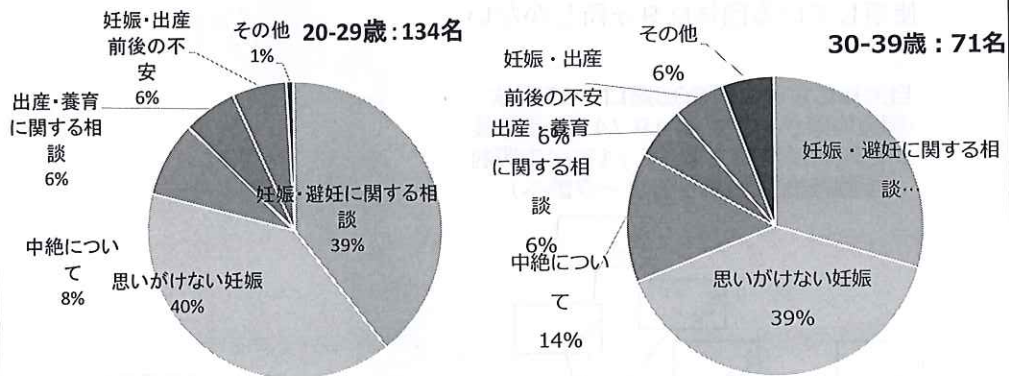
24

相談内容：年代別



15歳未満は思いがけない妊娠の相談、
15歳以上は妊娠の不安、避妊の失敗の相談が多い

相談内容：年代別

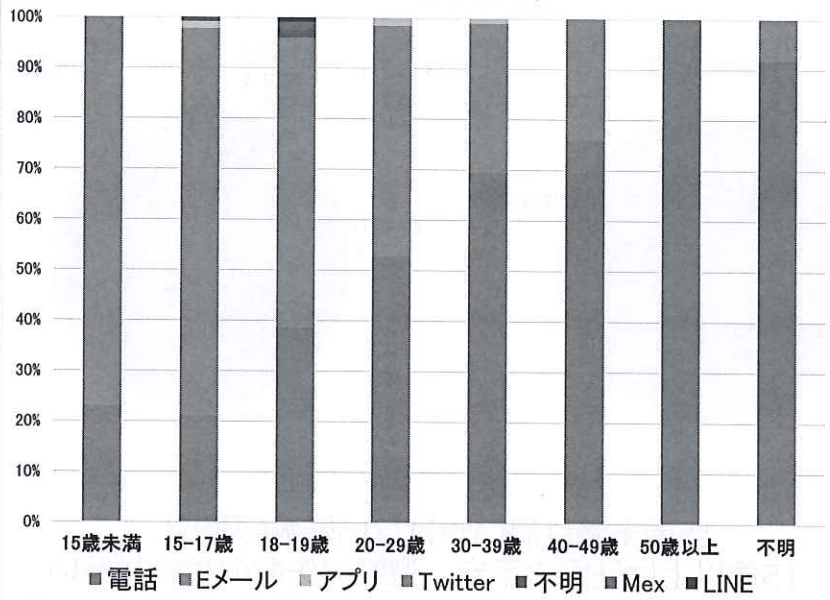


20代、30代では思いがけない妊娠、
中絶についての相談が増加。
30代では中絶についての割合が上昇し、
妊娠避妊に関する相談は減少。

若年層はテキストでの相談が多い



年齢別 相談経路

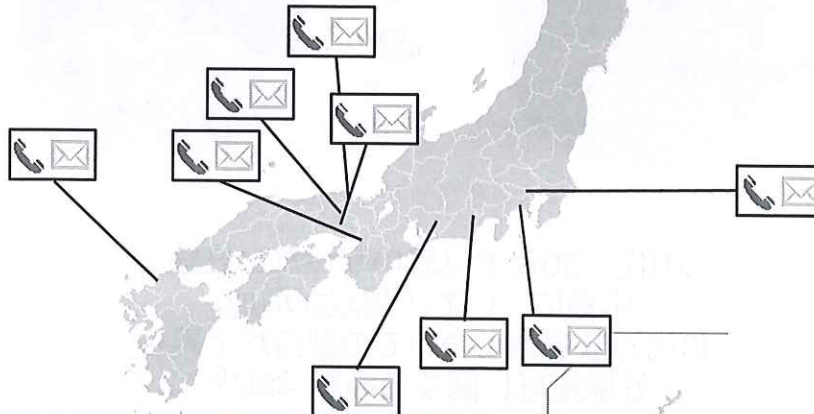


Copyright (C) NinshinSOS-Tokyo. All Rights Reserved.

27

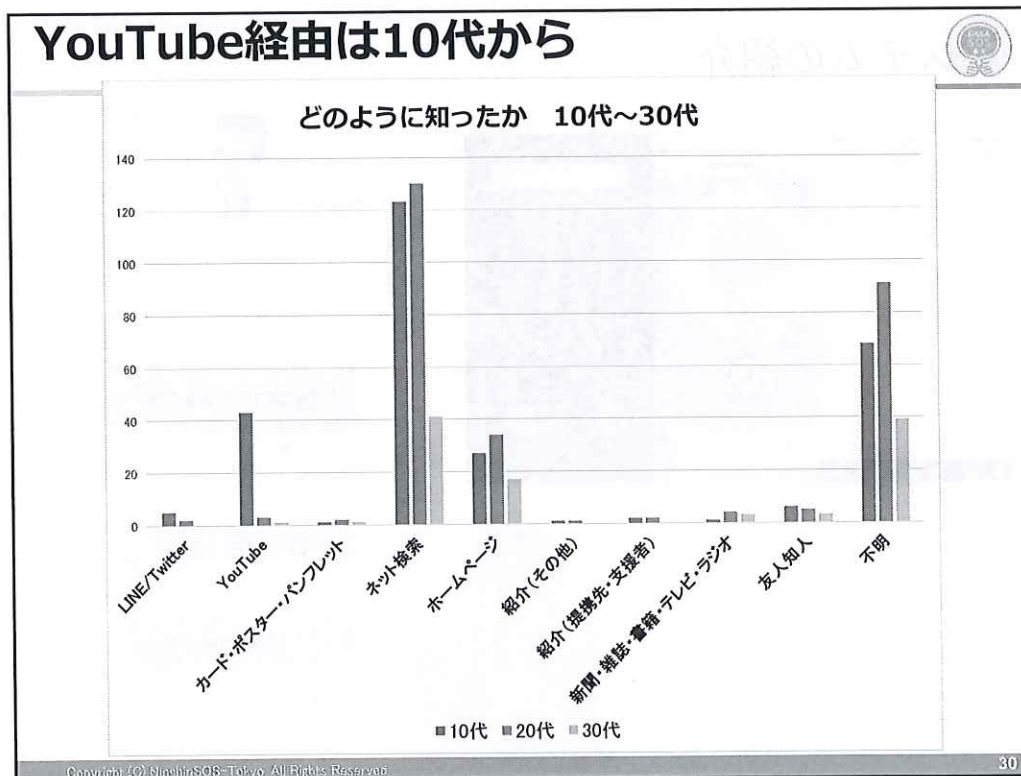
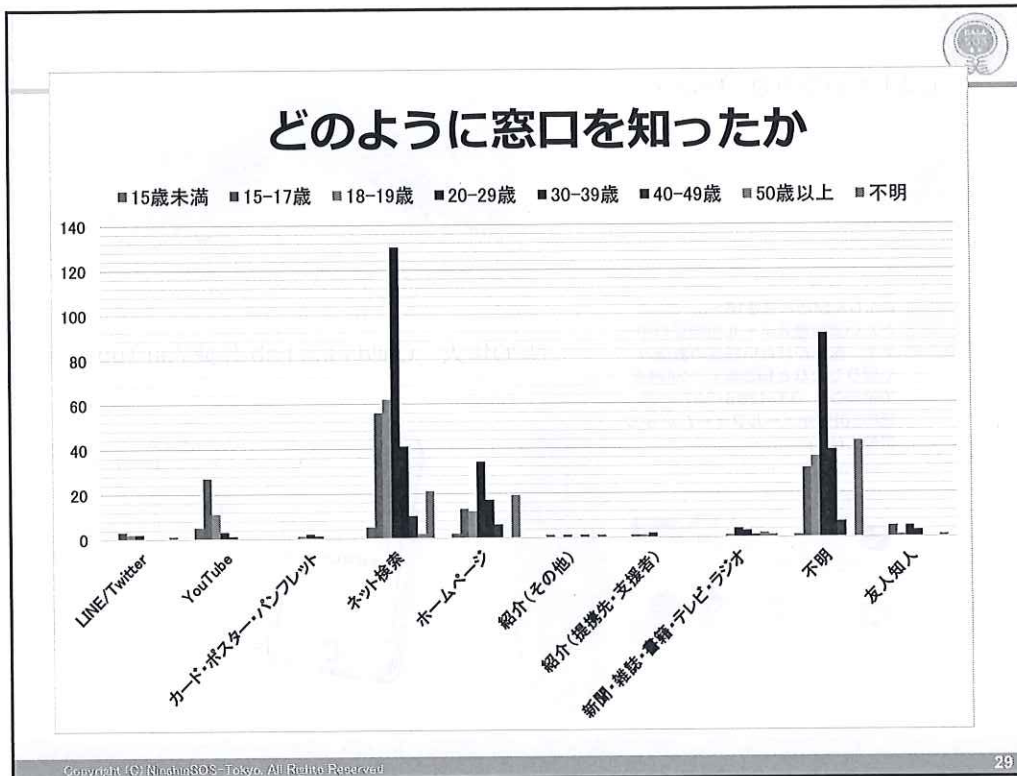
妊娠葛藤相談用のメールフォームを使用している団体は9ヶ所しかない

自治体による妊娠SOS窓口：35団体
 →都道府県が実施主体 19 / 47都道府県
 →市区町村が実施主体 16 / 1724市町村
 (全国妊娠SOSネットワーク調べ)



Copyright (C) NinshinSOS-Tokyo. All Rights Reserved.

28



にんしんSOS東京 Twitter

NPO法人 Child First Lab.作成YouTube

あなたの相談にのってくれる窓口です

名前を言わなくても相談できるよ

Copyright (C) NinshinSOS-Tokyo. All Rights Reserved 31

システムの紹介

相談は無料です 秘密は守ります

電話で相談する

050-3187-9870

11:00~19:00 年中受付・相談は無料です

※相談対応中はお電話がつながりにくいこともあります。必ず通話中でかけていただいた方には、こちらから折り返させていただきます。お急ぎの場合は、お電話ください。

メールで相談する

通話料無料で相談する

※ウェブサイトでない方は、こちらのボタンを押して、出てくる画面の「電話をかける」ボタンを押していただくと通話料無料で通話料が対してご相談いただけます。※お電話による場合はこちらからどうぞ。

Copyright (C) NinshinSOS-Tokyo. All Rights Reserved

システムの紹介



Dashboard

今日は全日対応です
※ 11:00 - 19:00

0
未対応件数

45
今日の出勤件数

シフト設定

2017/04/10 - 2017/04/12

開始日時	担当員	所要	電話
2017-05-29 10:10:11	未登録	▶ 0:00 / 0:32	📞
2017-05-29 10:08:01	未登録		📞
2017-05-29 14:08:49	未登録		📞
2017-05-29 15:00:14	未登録		📞
2017-05-29 14:19:55	未登録	▶ 0:00 / 0:00	📞
2017-05-29 01:54:41	未登録	▶ 0:00 / 0:00	📞

Copyright (C) NashinSOS-Tokyo / All Rights Reserved 33

相談窓口から見てきた相談者の背景

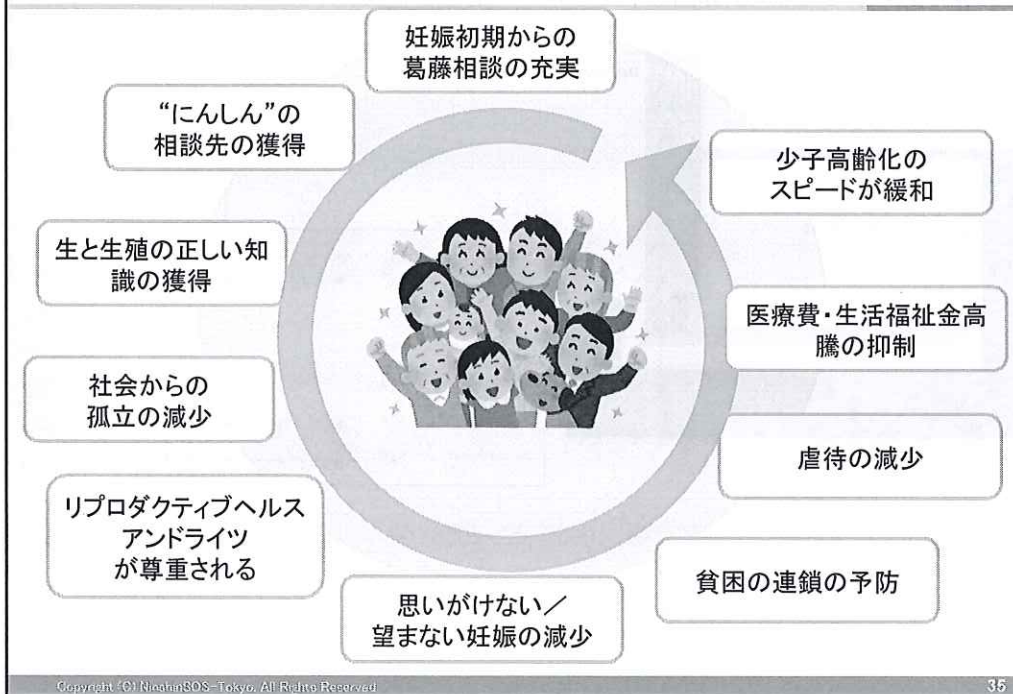


相談者数 : 1,416人
対応件数 : 7,558回
(2018年5月20日現在)

- 受診するお金がない
- 10代,20代
- シングルマザー
- 夫や恋人からのからのDV
- 不安定な就労
- 複雑な家族構成
- 親からの虐待がある
- 相手が妊娠に対して無理解、拒絶
- 親または本人に知的な問題がある
- 親または本人に精神疾患がある
- 性被害の被害者

Copyright (C) NashinSOS-Tokyo / All Rights Reserved 34

にんしん葛藤相談がもたらす変化



ドイツの状況



1992年 妊娠葛藤法制定。

1999年 「子どもの家ひまわり」が匿名での母子の受け入れ開始

2000年 Sternipark Babyklappeをゲート通り幼稚園に設置
現在、国内に約80ヶ所ある

2014年5月 「妊娠の葛藤状態の回避及び克服のための法律」
(内密出産法) 施行

現在、国内に100ヶ所の相談窓口・4万人にひとりの相談員
(人口8000万人なので2000人以上いる?)

漂流女子



—にんしんSOS東京の相談現場から—

新着



漂流女子 —にんしんSOS東京の相談現場から—
(朝日新書) 2017/10/13
中島かおり

背景にある社会課題

